



第422号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 己を忘れて



カット：  
本多 紘子

虫も穴を出る啓蟄の候となり、春寒しだいにゆるむ季節となってきました。お雛飾りで桃の節句を祝う家庭も少なくなりましたが、春が来るのは嬉しいですね。皆様、如何お過ごしでしょうか。

昨年夏は異常な猛暑であり、気象庁が今冬の冬は暖冬だと長期予報をだしていたので、そのつもりでいたら12月に入り日本海側を中心に異常な寒気が押し寄せ、北海道や青森県・秋田県、北陸地方に大雪が降り鉄道や道路の交通が停滞したり、自動車のスリップ事故が多発して驚きました。その根雪が溶けないうちに1月も、2月も寒波が押し寄せ、例年になく日本海側の地域は大雪で、危険な屋根の雪下ろしに高齢者たちは悩まされています。

悩むと言え、昨年の夏頃から日本人の主食と言われているお米が値上がりしました。5kgが2,500円ぐらいでスーパーマーケットで買っていたのに、昨夏の南海トラフ地震の臨時情報による買いだめを機に急騰、新米が出回り始めても価格上昇が続き、2月の中頃になっても倍の五千円ぐらいで販売されており驚きました。農林水産省は2月14日によく重い腰を上げ、凶作時に限定していた備蓄米の放出を転換し、21万トンの備蓄米を放出すると決めました。米

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

の価格が安くなることを期待しますが、どうなるのでしょうか。

江戸時代までは日本は農業国家であり、お米を大切に生産していました。殿様も武士たちも給料はお米の量、つまり石高によって支払われていました。江戸時代中期から、後期になると商売人が貨幣による取引を重視しましたので、武士たちが落ちこぼれ貧困生活に苦しむ者も増えていきます。そんな時代の中で、ヨーロッパの列強の国々がアジアの国々を植民地化しており、お隣の強国であった中国も蝕まれていきます。日本もこのままではヨーロッパの国に乗っ取られ、植民地化されると危機感を感じた薩摩や長州の下級武士たちが、新しい近代国家を作つて、ヨーロッパと対抗しようとし、明治政府が出来上がります。農業国から工業国に变身し近代国家にするために、農家の次男や三男たちを都市に集め工場で働かせます。

明治政府は財政的基盤が無い中で、近代国家を作り上げようとしていたので相当な無理があつたようです。江戸時代の農民たちは貧しくて悲惨な国のように言い、希望のある新しい国家を作るのだと吹聴したのも仕方が無かつたのでしよう。江戸時代の後半に日本に来たヨーロッパの人が、日本の庶民は明るくて真面目な人が多いと書かれています。また日本人はお寺を大切に、困ったときはお互いに助け合うし、よく笑うとまであるのです。

明治政府から近代国家を目指した日本ですが、他国を侵略し、領土を拡張した時代もありました。昭和では世界大戦で敗戦国となり都市が焦土化した中で、奇跡の復興があり経済大国にもなりました。

今、私たちはどういう日本を目指し歩んでいるのだろうか。伝教大師最澄は『山家学生式』に「悪事を己に向へ、好事を他に与え、己を忘れて、他を利するは慈悲の極みなり」とあり、悪いことは自分に、良いことは他人に、自己を忘れ、他人の利益になることをするのは、慈悲の極みであると書かれています。愚僧は『忘己利他』の心こそが人類破滅の危機を救うように思えてなりません。合掌(奥原 曇龍)

『損得の計算ばかり現代人 己を忘れて他人に尽くそう』 どんりゅう



カット：  
府川 綾

## ともしび説法

日時・三月 六日「木曜日」 午後一時半から四時頃まで。  
四月 二十日「日曜日」 午後一時から四時頃まで。  
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)





# お釈迦様ものがたり 101

お釈迦様が当時のインドで六大都市の一つヴェーサーリーの地でも、布教し、活躍し始めましたが、ジャイナ教祖マハーヴィーラの出身地であり、すでにジャイナ教の勢力が根を張っていました。

ジャイナ教の熱心な信者であったサツチャカは貴族で議論に巧みな知識階級であり、多くの宗教家とも交際し、お釈迦様と問答したこともしばしばありました。そしてお釈迦様が当時の最も偉大な思想家であることを認識しましたが、彼は仏教の信者にはならなかったようです。

しかしこの地の將軍であり、ジャイナ教の有力な保護者であったシーハは、ジャイナ教から仏教へ転向しました。それはお釈迦様があるとき、大林の重閣講堂におられたときのことです。貴族的共和制をとっていたワツジ国では、この地の貴族リツチャビー人たちが、政り事のために公会堂に集まっているとき、人々は仏教について、仏と法と僧とを賞賛しているに話し合っていた。

ジャイナ教徒であったシーハ將軍は、これを聞いて、一度お釈迦様に会ってみたいと思いい、ジャイナ教祖のところに行つて、その意向を漏らすと、お釈迦様は非作業者論者であるから、そのような邪説をなす人と会つてはならないと止められます。

次の公会堂での集會も、人々が仏教のことをしきりにほめていたので、シーハ將軍はどうしてもお釈迦様に会いたいと考えたが、また教祖に止められます。このようなことが繰り返されたが、彼は思いとどまることができず、多くの人々を連れて重閣講堂を訪ねます。そして質問するには、「お釈迦様、あなたは非作業者論者であるという避難の噂があるが、それは事実ですか」と。

お釈迦様は、「シーハよ、わたしに関して様々な非難の噂が……」。合掌(奥原曇龍)

親として落第かなと春浅し デコボコ道にも淡きともしび 田辺多恵子



1月31日 ともしび送付のお手伝いスタッフ

## ともしび法話

3月は雛飾りと春のお彼岸の季節。まだまだ寒さが残っていますが、皆様お元気でしようか。風邪には気をつけて下さい。

心光寺では春のお彼岸の中日に彼岸合同法要の行事、4月20日は春の永代経法要の行事があり、皆様方お気軽に参詣下さい。心光寺新坊守(ぼうもり) 府川 綾

賀正 旧年中はお世話になりました。色々ありますが、一山一山ゆつくり超えていこうと思つています。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。 都窪郡早島町 平松 公子

いつも「ともしび説法」に参加し、心を和らげています。これからもお体に気をつけてられて、心のともしびをお導き下さい。春の永代経法要も宜しくお願ひ致します。 倉敷市西中新田 古谷 洋子

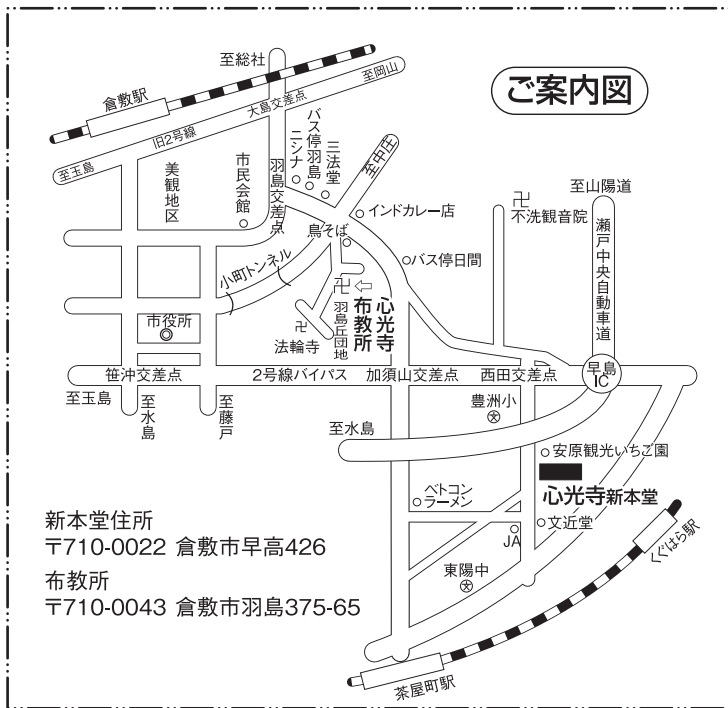
曇龍先生、いつも「ともしび」を楽しみにしています。じつに心に残る好いことが満載で、感心しながら読ませていただいています。いつまでもお元気で!! 福山市南手城町 藤原 良通

## ともしび説法

日時・三月 六日「木曜日」 午後一時半から四時頃まで。  
四月 二十日「日曜日」 午後一時から四時頃まで。  
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて  
電話・(086)420-1311 駐車場有り  
(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定  
五月 十四日(水)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。  
六月 十一日(水)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。  
七月 九日(水)・午前十時から十二時まで・早高の本堂。

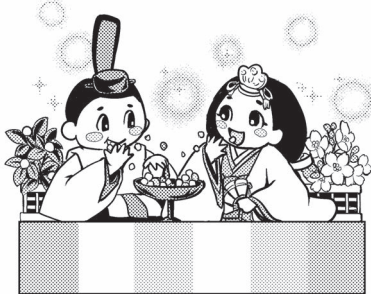
☆ともしび会は、月額七百円の会費制です。(賛助会員募集中)。  
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。  
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。  
倉敷市 木戸様 4千円  
福山市 藤原良通様 2万円

## いろいろの詩

卒業式のシーズンが来た  
去りゆく友を見送りながら  
沈みゆく心を奮い立たせ  
澄んだ瞳で別れを告げる  
青春とは出会いと別れ  
そつと思ひ出を大切にしよう  
卒業は新たな人生の始まり



カット:吉岡美枝



〒710-0022 倉敷市早高426  
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺  
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「422号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。3月6日のともしび説法の日には茶屋町駅西口に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしょうにん)です。  
お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。